

研修事例

人材育成

笠間陶芸大学校事業による人材育成

支援先

笠間焼産地

【内 容】

本事業は、陶芸産地を担う人材育成を図る目的で実施しています。平成 28 年 4 月 1 日、「窯業指導所」から名称を変更し「茨城県工業技術センター笠間陶芸大学校」として開校いたしました（図 1）。陶芸学科 10 名，研究科 2 名が入学し，平成 27 年度までの旧成形基礎コース 2 年次 8 名と総勢 20 名の学生が陶芸を学んでいます（図 2）。新カリキュラム実施において『H28 年度県芸術祭美術展覧会』で，研究科の学生が優賞を受賞，陶芸学科 1 年次・成形基礎コース 2 年次が入選(2 名)，『第 56 回日本クラフト展』で陶芸学科 1 年次(1 名)が学生賞を受賞しました。

表 1 平成 28 年度 事業内容

|          | 学科               | 人数   | カリキュラム内容 [約 200 日・1400 時間]   |
|----------|------------------|------|--|
| 旧 カリキュラム | 成形基礎コース 2 年次     | 8 名  | 造形課題(課題から各種技法や釉薬，焼成の技術を研究・制作)・ポートフォリオ課題・修了制作・特別講座 等                          |
| 新 カリキュラム | 陶芸学科 1 年次 (2 年制) | 10 名 | 導入課題(土の特性を知り可能性を学ぶ)・成形課題(手ひねり・タタラによる成形技術)・ロクロ成形課題・石膏課題・意匠課題・釉薬調合・焼成実習・特別講座 等 |
|          | 研究科 (1 年制)       | 2 名  | 自主課題(各自テーマを決め 2 課題に取り組む)・インターン実習・卒業制作・特別講座 等                                 |

今年度は，最後の窯業指導所研修生 8 名及び研究科 2 名が修了予定です。昭和 35 年から平成 28 年までの計 56 年間で累計 809 名が修了しています。笠間市周辺で工芸陶磁器業を営む人たちの約 6 割が研修修了者で，地元産業の後継者育成に貢献しています。



図 1 開校式典(4/7)



図 2 薪窯焼成実習



図 3 特別講座(座学)



図 4 ワークショップ



図 5 特任教授 1 年次指導



図 6 オープンキャンパス(授業体験)

本事業を強化する目的で全国区レベルの講師を招へいし，現代陶芸に必要な知識を身に付ける特別講座(座学)(図 3)，ワークショップ(参加型講座)(図 4)，地元陶芸家による実習指導などの講座を開催しました。陶芸従事者の参加もあり，産地従業者の技術向上にも貢献しました。また，大学校 PR としてオープンキャンパス(図 6)を 2 回開催(8/20・10/8)，計 63 名の参加がありました。

・新聞掲載 16 件，TV 3 件，ラジオ 2 件，インターネット記事 2 件，その他陶芸雑誌 12 件

基礎となった事業

平成 28 年度 笠間陶芸大学校事業

現在の担当部門

人材育成部門

部門長

尾形 尚子

TEL:0296-72-0316

特任教授

佐藤 雅之

特任教授

五味 謙二

主任研究員

常世田 茂

嘱託

根本 達志

工芸・材料技術部門

主任研究員

吉田 博和